



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社  
 コード番号 6915 URL http://www.chiyoda-i.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	26,945	△6.0	992	△29.7	1,051	△33.0	238	△84.9
2019年12月期第3四半期	28,661	△5.0	1,410	△29.1	1,567	△27.1	1,575	2.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △907百万円 (ー%) 2019年12月期第3四半期 1,148百万円 (23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	19.23	—
2019年12月期第3四半期	124.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	43,370	32,570	75.1
2019年12月期	44,813	34,656	77.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 32,570百万円 2019年12月期 34,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	△4.8	1,400	△27.1	1,400	△35.6	500	△75.7	40.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	13,528,929株	2019年12月期	13,528,929株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,128,482株	2019年12月期	1,128,462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	12,400,449株	2019年12月期3Q	12,666,515株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 2020年8月7日に公表致しました連結業績予想について本資料において修正しております。詳細は、本日付の「2020年12月期通期連結業績及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が各国に甚大な悪影響を及ぼし、収束が見通せず景気の不透明感が強い状況が続きました。米国においては、米中間の対立が強まるなか経済活動の再開や落ち込みからの反動で持ち直しの動きが見られました。中国においては、政府による早期の感染症拡大抑制策実施やインフラ投資などの効果により、底打ち感が出て緩やかな回復に向かいました。他のアジア地域においては、感染症の抑制効果と経済活動制限の段階的解除などにより、徐々に立ち直ってきました。それでもなお、欧米や新興国では新型コロナの感染者が再び増加しており予断を許さない情勢であり、景気の下振れリスクが懸念されております。

また、我が国経済は、世界経済が製造業主導で回復基調をたどるなか、感染拡大防止対策を講じ経済活動の段階的な引き上げを行うことで、復調の兆しがあるものの足踏み状態が続きました。企業は先行きに対する不透明感を払拭できず慎重姿勢が続き設備投資を控え、個人消費も政策効果も表れましたが本格回復への足取りは重く、大変厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境の中で、当社はグループ一丸となり、「成熟市場」・「成長市場」のそれぞれを見据えた経営資源の選択と集中を継続し、エリア戦略・戦略商品によって事業領域を広げ、利益の拡大を展開し、目標達成を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26,945百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業利益は992百万円（前年同四半期比29.7%減）、経常利益は1,051百万円（前年同四半期比33.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は238百万円（前年同四半期比84.9%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、経済活動の段階的な引き上げが行われるなか主要分野で低調な状態が続き、売上高は6,155百万円（前年同四半期比14.9%減）、営業損失は495百万円（前年同四半期は166百万円の営業損失）となりました。

東南アジアは、新型コロナウイルス感染症による経済活動制限の影響が続いておりAV機器を除く主要分野が落ち込み、売上高は9,640百万円（前年同四半期比11.5%減）、営業利益は481百万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

中国は、緩やかな回復基調となりAV機器・ゲーム機器向けが伸長し、売上高は7,888百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は448百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

北米は、米国での持ち直しの兆しがあるなかでAV機器向けが好調であり、売上高は2,987百万円（前年同四半期比25.4%増）、営業利益は60百万円（前年同四半期は0百万円の営業損失）となりました。

その他は、スロバキアでの自動車向けが堅調に推移したものの、売上高は274百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業損失は18百万円（前年同四半期は2百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,443百万円減少し、43,370百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,277百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ642百万円増加し、10,799百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加569百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,085百万円減少し、32,570百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少939百万円及び為替換算調整勘定の減少711百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月7日に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2020年11月12日（本日）に公表いたしました「2020年12月期通期連結業績及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想の前提となった為替レートにつきましては、1米ドル=107円で算出しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,999	15,721
受取手形及び売掛金	9,100	9,932
有価証券	109	105
商品及び製品	1,806	1,654
仕掛品	351	470
原材料及び貯蔵品	2,107	2,139
その他	446	426
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	30,904	30,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,868	10,806
減価償却累計額	△7,337	△7,271
建物及び構築物 (純額)	3,530	3,535
機械装置及び運搬具	8,707	8,770
減価償却累計額	△5,792	△5,968
機械装置及び運搬具 (純額)	2,914	2,801
工具、器具及び備品	2,123	2,080
減価償却累計額	△1,689	△1,702
工具、器具及び備品 (純額)	434	377
土地	2,602	2,584
使用権資産	345	342
減価償却累計額	△58	△99
使用権資産 (純額)	287	243
建設仮勘定	153	31
有形固定資産合計	9,922	9,575
無形固定資産		
ソフトウェア	235	204
ソフトウェア仮勘定	16	—
その他	0	0
無形固定資産合計	251	204
投資その他の資産		
投資有価証券	2,673	2,064
繰延税金資産	217	219
その他	881	902
貸倒引当金	△38	△33
投資その他の資産合計	3,734	3,153
固定資産合計	13,908	12,932
資産合計	44,813	43,370

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,820	6,390
短期借入金	1,020	1,020
未払法人税等	237	102
賞与引当金	351	510
その他	1,234	1,437
流動負債合計	8,664	9,459
固定負債		
繰延税金負債	598	469
退職給付に係る負債	576	598
その他	318	272
固定負債合計	1,492	1,339
負債合計	10,157	10,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	31,005	30,065
自己株式	△2,236	△2,236
株主資本合計	33,550	32,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	887	455
為替換算調整勘定	237	△473
退職給付に係る調整累計額	△18	△21
その他の包括利益累計額合計	1,106	△40
純資産合計	34,656	32,570
負債純資産合計	44,813	43,370

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	28,661	26,945
売上原価	22,649	21,769
売上総利益	6,011	5,176
販売費及び一般管理費	4,601	4,184
営業利益	1,410	992
営業外収益		
受取利息	127	74
受取配当金	50	51
その他	71	86
営業外収益合計	249	211
営業外費用		
支払利息	6	12
為替差損	54	108
その他	30	31
営業外費用合計	92	151
経常利益	1,567	1,051
特別利益		
固定資産売却益	92	3
投資有価証券売却益	368	—
ゴルフ会員権売却益	—	3
助成金収入	—	46
特別利益合計	460	53
特別損失		
固定資産除売却損	20	15
減損損失	—	11
投資有価証券売却損	0	0
ゴルフ会員権売却損	—	4
特別退職金	20	112
関係会社整理損	—	275
工場移転費用	—	14
新型コロナウイルス感染症による損失	—	191
特別損失合計	41	625
税金等調整前四半期純利益	1,986	479
法人税等	411	241
四半期純利益	1,575	238
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,575	238

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,575	238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△432
為替換算調整勘定	△594	△711
退職給付に係る調整額	18	△2
その他の包括利益合計	△427	△1,146
四半期包括利益	1,148	△907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,148	△907
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けております。現時点では新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せず、この状況がいつまで続くのか予想することは困難であるものの、各地域において経済活動は徐々に再開していることから、当連結会計年度の一定期間にわたり一時的な需要低下がありつつも、今後需要は徐々に回復していくと仮定し、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定）に反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	7,231	10,895	7,879	2,382	28,388	272	28,661	-	28,661
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,466	90	580	3	3,141	34	3,176	△3,176	-
計	9,698	10,985	8,460	2,386	31,530	307	31,837	△3,176	28,661
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△166	682	382	△0	897	2	899	510	1,410

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	6,155	9,640	7,888	2,987	26,671	274	26,945	-	26,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,967	132	553	22	2,676	19	2,695	△2,695	-
計	8,123	9,773	8,441	3,010	29,348	293	29,641	△2,695	26,945
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△495	481	448	60	494	△18	476	515	992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間においては、「その他」に含まれていた「北米」の量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において11百万円であります。